

EA12/B-2

1/4

BLOW-88型スプレーガン

型式 B-88- SA

ノズル口径 1.5 mm

取扱説明書

この度、BLOW-88型スプレーガンをお買い上げ下さいましてありがとうございます。

スプレーガンの性能を十分に発揮していただくために、取扱説明書をお読みいただき御使用下さい。

〔I〕 御使用法

- ① 塗料カップ(塗料ホース)、及びエアホースはスプレーガンにしっかり取付けて下さい。
- ② 使用空気圧力は塗料の粘度、塗料の性質により異なりますが、減圧弁等で3~3.5kg/cm²にて御使用下さい。
- ③ 吹付距離は塗料粘度、塗料噴出量、仕上面によって多少異なりますが、通常20~30cmが適当です。吹付距離が近すぎたり遠すぎたり、又スプレーガンを円弧移動して塗装しますと美しい仕上りは出来ません。



- ④ パターン開き方向、平吹き時のパターン形状を縦吹きに行ないたい場合は、空気キャップの角の向きを横向にして下さい。又横吹きに行ないたい場合は縦向にして下さい。
- ⑤ パターン開き調節装置、パターン幅を変える事が出来ます。ツマミを右回転させて停止位置まで来た時に、パターン幅は最小となります。停止位置から左回転させるに従ってパターン幅は徐々に大きくなって行きます。塗装する品物によりパターン幅を調節して下さい。
- ⑥ 塗料噴出量調節装置、ツマミを右方向へいっぱい回しますと空気のみ噴射し、又左方向へ回しますと、塗料噴出量が徐々に多くなります。約5回転で最大になります。
- ⑦ 引金の二段吹きの利用、二段式になっている引金を一段引きますと空気のみ噴射し、更に引くことにより塗料が噴出します。空気のみ噴射は被塗装物のゴミの除去に便利です。

〔Ⅱ〕 御使用後の手入れ法と御注意

- ① 塗料通路の洗浄は塗装作業と同じように少量のシンナー液の吹付を行なって下さい。
- ② 空気キャップ、塗料ノズル等の洗浄はシンナー液を浸したブラシにて行って下さい。(金属類を使用しないで下さい)
- ③ 空気キャップ、塗料ノズルの各噴出穴は絶対にキズをつけないで下さい。霧ムラの原因となります。(特に分解組立時、要注意)
- ④ 分解組立時には、部品をよく洗浄しゴミが付着しないように行なって下さい。



〔Ⅲ〕 不完全パターンの原因と対策

パターン形状	原因	対策
<p>息切れ</p>	◎ニードル弁パッキン部より塗料通路に空気が混入する	◎ニードル弁パッキン締付ナットを締める ◎ニードル弁パッキンを交換する
	◎塗料ノズル、ノズルガスケット、サブノズルのシート間より空気が混入する	◎塗料ノズルの締付を完全にする ◎塗料ノズルを外しシート部洗浄する
	◎カップ取付部、又は塗料ホース継手部より空気の混入	◎塗料ニップル部の締付を完全にする
<p>三日月</p>	◎キャップの角孔に塗料等の固形物が詰まり両角からの空気の強さが異なる	◎キャップの角孔の障害物を除去する (注意、金属類のものは使用しない事)
<p>かたより</p>	◎塗料ノズル口の外周及び空気キャップ口に固形物が附着しているか痕がある	◎固形物を除去する (注意、金属類のものは使用しない事) ◎痕部品を交換する
<p>中くびれ</p>	◎吹付空気圧力が高すぎる	◎吹付空気圧力を低くする
	◎塗料粘度が低すぎる	◎塗料粘度を調整する
<p>中高</p>	◎吹付空気圧力が低すぎる	◎吹付空気圧力を高くする
	◎塗料粘度が高すぎる	◎塗料粘度を調整する

〔Ⅳ〕 部品の御注文及び分解図と部品名表

- ① 部品御注文の際は、型式及び部品番号、部品名、ノズル口径等を御指定下さい。
- ② 空気量調節装置、パターン開き調節装置、空気弁セットの部品はセット部品になっておりますので御了承下さい。
- ③ 型式B-88-SH、B-88-GHのスプレーガンは別仕様なので、サブノズル(No.5)は使用していません。

